



にしあさけ

令和2年度 第20号

令和3年3月25日(木)

3月20日(土)に開花した西朝明中学校の桜も、もうすぐ満開となるでしょう。季節はすっかり春となりました。4月からの新しい学校生活のスタートは、一段と成長した姿で迎えられるよう、明日からの春休みを大切に過ごしてください。

中学校って、どんなイメージ？

3月15日(月)に下野小学校へ、17日(水)に八郷西小学校へ、新入生オリエンテーションに行ってきました。

そこで、「中学校って、どんなイメージ？」と6年生のみなさんに聞いてみました。すると、「勉強が大変そう」「部活動がある」「決まりを守る」「敬語を使う」などの意見を発表してくれました。

中学生として1年間または2年間を過ごしたみなさんは、どう思いますか。「こんなことは当たり前やん！」と思っているのでしょうか。これらの意見について、次のようにコメントしました。

①「勉強が大変そう」

なぜ、勉強が大変そうになるのかについては、入学前にも関わらず中学校卒業後の話をしました。小学校6年間と中学校3年間の9年間は義務教育ですが、高校や専門学校は、もっと勉強がしたいと思う人が行くところです。ですから、それぞれが行きたいと思う学校で勉強を続けることができるよう中学校では、必要な学力をつけないといけません。自分の卒業後の進路を自分で切り拓かなくてははいけない。ここが小学校とは勉強面で大きく違う、大変なところです。

②「部活動がある」

これも中学校の特色です。中学生の時期は、心も体も大きく成長する時期です。学年を越えた仲間とともに一つの目標に向かって努力する部活動は、互いに協力し合い、励まし合うコミュニケーション力を培ったり、困難に打ち勝とうとする精神力を養ったり、技能や体力を高めたりなど、中学生の心と体の成長のために重要な役割を果たす活動であると考えています。部活動にも一生懸命取り組んでください。

③「決まりを守る」「敬語を使う」

では、「なぜ、このようなことが中学生に必要なのか？」と聞くと、「社会に出ていかななくてははいけないから」と答えてくれた6年生がいました。

働くにあたっては、就業規則というその会社の決まりがあり、その決まりに従って働かなくてはなりません。また、会社の上司や取引先と話をするときに敬語を使うことも必要です。中学校を卒業して数年後には、ほとんどのみなさんが社会に出て働くことになります。そのときのためにも、社会で通用するマナーを身に付けておく必要があります。

1年生のみなさんは、3学期末にキャリア学習を、2年生のみなさんは、2学期にマナー講座、ザ・プロフェッショナル(職業講話)など、社会で働くことについての学習を進めてきました。中学校は、社会で活躍するために必要な基本的な力を身に付けるところです。

クラスマッチ・学年レクで学んだこと

<2年生> 3月11日(木)、風もなく暑いぐらいの好天の中、5～6 限を使ってクラスマッチを行いました。このクラスマッチは、1月から計画を進めてきました。室長会を何度も何度も開き、どうしたら成功させることができるかを真剣に話し合い、準備を進めてきました。当日の司会進行、審判、運営など、ほぼ全てを生徒自身で分担し、大会を進めました。

種目は、体育館でバレーボール、グラウンドでドッジボール、武道場でトランプのババ抜きと、3 種目。どの種目も、いい雰囲気、笑顔があふれていて、見ている方も笑顔になるような時間にすることができました。盛り上げ隊のみなさんの考えたエモイ賞は、普段なら見過ごしてしまいそうな仲間の活躍ぶりやその人のよさを発見するいい取組となりました。

これまで準備を進めてくれた室長をはじめ、大会運営に携わってくれたすべての人、また、その苦勞に報いるべくフェアプレーで競技したみなさん、参加したすべての人のおかげで素晴らしい時間にすることができました。

<1年生> 3月23日(火)、暖かい春の日差しの中、2～4限を使って学年レクを行いました。2月から室長が「みんなが楽しめるようなレクにする」を目標に種目のアンケートを取ったり、ルールを考えたりと様々な準備をしてきました。そして、迎えた当日、「みんな～楽しんでいきましょ～」という室長の掛け声とともに学年レクがスタートしました。

レクリエーション中は、応援する姿や励まし合う姿、たたえ合う姿、笑い転げる姿など様々な前向きな姿が見られ、その姿からは楽しさが伝わってきました。1年間で学んできた「団結・協力・一体感」が存分に発揮され、最高の学年レクとなりました。

2年生・1年生とも、閉会式では、すべてのクラス、お互いをたたえる温かい拍手、レクを企画・運営してくれた室長に対する盛大な拍手が聞こえてきました。このクラスマッチ・学年レクも、「みんなで楽しむ」「みんなで創る」をテーマに生徒のみなさんが主体的に取り組み、達成感・充実感のある活動とすることができました。この成功は、中心となって進めてくれた室長会の頑張りはもちろん、参加していた生徒のみなさんの協力があってのことと思います。

前ページに、中学校での大切な活動として「勉強」、「部活動」のことを書きましたが、体育祭や文化祭とともに、こういった学年行事を自分たちで創る取り組みも、みなさんの成長に欠かせない大切な活動です。中学校での学習や活動のすべてが「社会に出るため」の準備となっていることを再認識し、新学年をむかえてください。

たくさんの図書を寄贈いただきました

図書室では、資料として古くなった図鑑や貸し出しの実績がない古くなった本などを中心に蔵書の入れ替えを積極的に行いたいと考えています。

今年も右のとおり四日市ライオンズクラブ様、(株)伊藤製作所様から、様々なジャンルの本を寄贈いただき、大変ありがたく思います。

すでに図書室に入れてあるので、「もう読んだよ」という人もいるかもしれませんが。まだ読んでいない人は、新年度、図書室に行って、手にとって見てください。

四日市ライオンズクラブからの寄贈図書（ライオン選書）一覧

プロレスを見れば世の中がわかる宝島社新書480
このあとどうしちゃおう
犬がいた季節
なぜ？ どうして？ 子どもと大人の疑問に答える新型コロナウイルスハンドブック
知っておきたい！日本の「世界遺産」がわかる本
お札に描かれる偉人たち 渋沢栄一・津田梅子・北里柴三郎
アルジャーノンに花束を

(株)伊藤製作所からの寄贈図書一覧

日本製造業の後退は天下の一大事
オス・メス見分け方事典
ポプラディア日本の地理①～⑤巻